

平成23年度一般会計当初予算説明資料

4款 衛生費

2項 環境衛生費

4目 環境保全費

環境立県推進課（内線：7879）

（単位：千円）

| 事業名 | 本年度 | 前年度 | 比較 | 財源内訳 | | | | 備考 |
|--------------|--|--------|--------|-------|----|-----|--------|----|
| | | | | 国庫支出金 | 起債 | その他 | 一般財源 | |
| EV安心タウン推進事業 | 32,100 | 17,706 | 14,394 | | | | 32,100 | |
| トータルコスト | 36,094千円（前年度18,513千円）〔正職員：0.5人〕 | | | | | | | |
| 主な業務内容 | マスコミ等への情報発信、補助金事務 | | | | | | | |
| 工程表の政策目標（指標） | 一人ひとりの行動が地球環境に負荷を与えていることを理解し、地球温暖化の防止に取り組む。（二酸化炭素等温室効果ガスの削減：(H2)3,974千トンCO2 (H21)3,750千トンCO2 → (H22)3,667千トンCO2） | | | | | | | |

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

CO2削減のための有効な手段の一つである電気自動車（EV）の普及を推進する。

2 主な事業内容

(1) (新) EVを活用した広域観光の推進 (2,536千円)

○岡山県との観光連携

・鳥取岡山EV観光モデルルートモニターツアー（岡山県との共同事業）

○近県と連携したEVによる中長距離移動の実現

・兵庫県、京都府と連携して充電しながらEVで安心して走行可能な広域ルート検討

例) 山陰海岸ジオパークルート（鳥取～兵庫～京都）、国道9号線ルート（京都～鳥取～松江）

○県外EVユーザーの誘客、EVレンタカーの利用促進

・自動車情報誌、観光情報誌等によるEV観光ルート等の発信

・EV利用者に対する観光施設の優待割引制度等の検討

(2) EVの普及啓発と県内走行環境の整備 (29,564千円)

○カーシェアリングによる県公用車としての率先利用とEVの体験機会の創出によるPR

・EV3台（平日）の借り上げレンタル料（期間：H22.7.21～H27.7.20）＜債務負担行為＞

○県内を安心して走行できる環境の整備

・充電設備導入支援

| 区分 | 補助対象経費 | 補助率 | 補助上限額 | 予定数 |
|-------|--------------------------------|------|------------------------------|-----|
| 急速充電器 | 充電器本体及び設置工事費等 （国補助等の収入額を除く） | 県1/2 | 市町村：3,000千円 民間事業者：1,500千円 | 9基 |
| 普通充電器 | 充電器本体及び設置工事費 （国補助等の収入額を除く） | 県2/3 | 200千円 | 25基 |

(3) 充電インフラの利便性向上を検討

○近畿ブロックEV会議、岡山県が設置予定の中四国EV会議（仮称）において、利用者の利便性向上のため充電インフラのネットワーク化による満空管理システム（充電器が使用中か空いているか等の情報をカーナビ又は携帯端末等で確認できるシステム）等を検討

3 これまでの取組状況、改善点

- ・レンタカー事業者と連携したカーシェアリングによる公用車としての率先利用を行うとともに、インフラ整備のため充電設備に対する補助事業を実施中。
- ・県内の急速充電器は、現在の設置状況（H22年度末時点で9基の予定）及び今後設置することを検討している市町村、民間事業所等の動向を踏まえると、平成23年度末には29基程度設置される見込み。普通充電器は平成22年度末で21基（設置済み13基含む）の設置が決まっている。
- ・平成22年12月6日、鳥取県が経済産業省の「EV・PHVタウン」の一つとして選定され、岡山県と連携したEVの普及モデルを全国に発信することが期待されている。



【県内急速充電器設置状況(22年度末見込)】

| | |
|----|---------------------------|
| 東部 | 岩美町役場、日産プリンス鳥取千代水支店、県庁本庁舎 |
| 中部 | ブランナール三朝、道の駅ポート赤碕、中部総合事務所 |
| 西部 | 緑水園、鳥取日産米子営業所、西部総合事務所 |